# パブリックコメント（回答）

| | |
|---|---|
| 意見公募案件名 | 第３次五泉市総合計画（案） |
| 意見公募期間 | 令和８年９月 10 日（木）～令和８年 10 月９日（金） |
| 問合せ先 | 五泉市企画政策課企画政策係<br>TEL　0250－43－3911　（内線 315・317） |

**【寄せらせたご意見等の件数】**

| 提出方法 | | 件数 | 人数 | 新たに意見を反映したもの | 既に取り組んでいるもの |
|---|---|---|---|---|---|
| 合　計 | | ３件 | ３人 | １件 | ２件 |
| 内訳 | 電子メール | ２件 | ２人 | | |
| | ファックス | ０件 | ０人 | | |
| | 郵　　送 | ０件 | ０人 | | |
| | 持　　参 | １件 | １人 | | |

**【寄せられたご意見、ご要望とそれに対する市の考え方】**

| No. | 寄せられたご意見 | 市の考え方 |
|---|---|---|
| 1 | 何歳になっても仲間と集まって何かをする環境が整っていることは、このまちに「住み続けたい」と思う上で大切なことだと思います。<br>施策 No.４　生涯学習の充実にある「五泉市活き活き達人バンク」は、単なる学習支援ではなく、「定住」や「交流」に大きく貢献できる可能性があります。<br>熟達した指導者と新規の学習者をつなげることで、それぞれにとってプラスの影響があると考えます。指導者は自身のスキルや経験を教えることで、自己表現とやりがいを得ることができ、学習者も身近な人から教えてもらえることで、指導者との交流や地域への親近感を深めることができます。<br>人と人との「つながり」を作っていくことは、地域への愛着の醸成にもつながります。<br>さらに、市外からの団体の呼び込みにもつなげることで「交流人口」の拡大や、子供達にとっての学校・クラブ活動以外の「第三の居場所」づくりなど、部局を超えた連携・発展も期待できます。<br>「達人バンク」に限らず、五泉市の「人」という財産を最大限に活かし、五泉市の定住がより一層進むことを望みます。 | 達人バンクは「いつでも」「どこでも」「だれでも」気軽に学習活動ができることを目的に、趣味や特技をもった指導者を派遣する制度です。<br>ご意見いただきましたとおり、指導者と学習者の交流や、地域への愛着醸成等に向け、さらなる事業の充実に努めてまいります。 |

| | | |
|---|---|---|
| 2 | 子育てに関する施策が４つも計画され、子育て世代が安心して暮らしていくためには、大変意義のある取り組みだと思います。<br>一方で、こうした五泉市の子育て支援の取り組みや、子育てしやすいまちとしての魅力が、市内外の方々に十分に伝わっていないようです。優れた取り組みであっても、その内容や魅力が知られなければ、定住や移住にはつながりません。<br>また、情報発信の対象は、現在の子育て世代だけでなく、高校生など、将来の子育て世代となる若い人たちにも広げる必要があると考えます。<br>人口減少が進むなか、定住者を増やし、移住者を呼び込むことは簡単なことではありませんが、五泉市の将来のためには、「子育て支援の充実」はもちろん、その魅力を「対象を広げ、市内外に広く発信すること」も重要であると考えます。<br>五泉市に住み続けたい、あるいは住んでみたいと思う人を増やす取り組みに期待します。 | これまで、子育てにかかるポータルサイトである「ごせん安心子育てにこにこサポートサイト」や「五泉市子育てガイドブック」をはじめ、市ホームページ、広報ごせん、チラシ、SNS等を活用し、子育て情報の発信に努めてきたところです。<br>引き続き情報発信に取り組むとともに、ターゲットの拡大や、より効果的な手法についても検討してまいります。 |
| 3 | 中高生、大学生などの若い人たちが自由に使える自習スペースや、テレワークの人が使えるコワーキングスペースを整備してほしい。<br>若い人が集まり、活気ある五泉市になると思います。 | 自習スペースについては、図書館、こどもの居場所「ごせんにこにこステーション」等の施設を一部ご利用いただいております。<br>コワーキングスペースについては、近年、働き方の多様化やテレワークの普及に伴い、ニーズが高まっているものと認識しております。<br>今後、若い世代のニーズを踏まえた施設の在り方について検討する旨を施策No.28に追記します。 |